

注目ファンドから紐解く、2025年のNISA投資戦略

2024年12月7日（土）

楽天証券資産づくり研究所 副所長 兼 ファンドアナリスト

CFP®（日本FP協会認定）

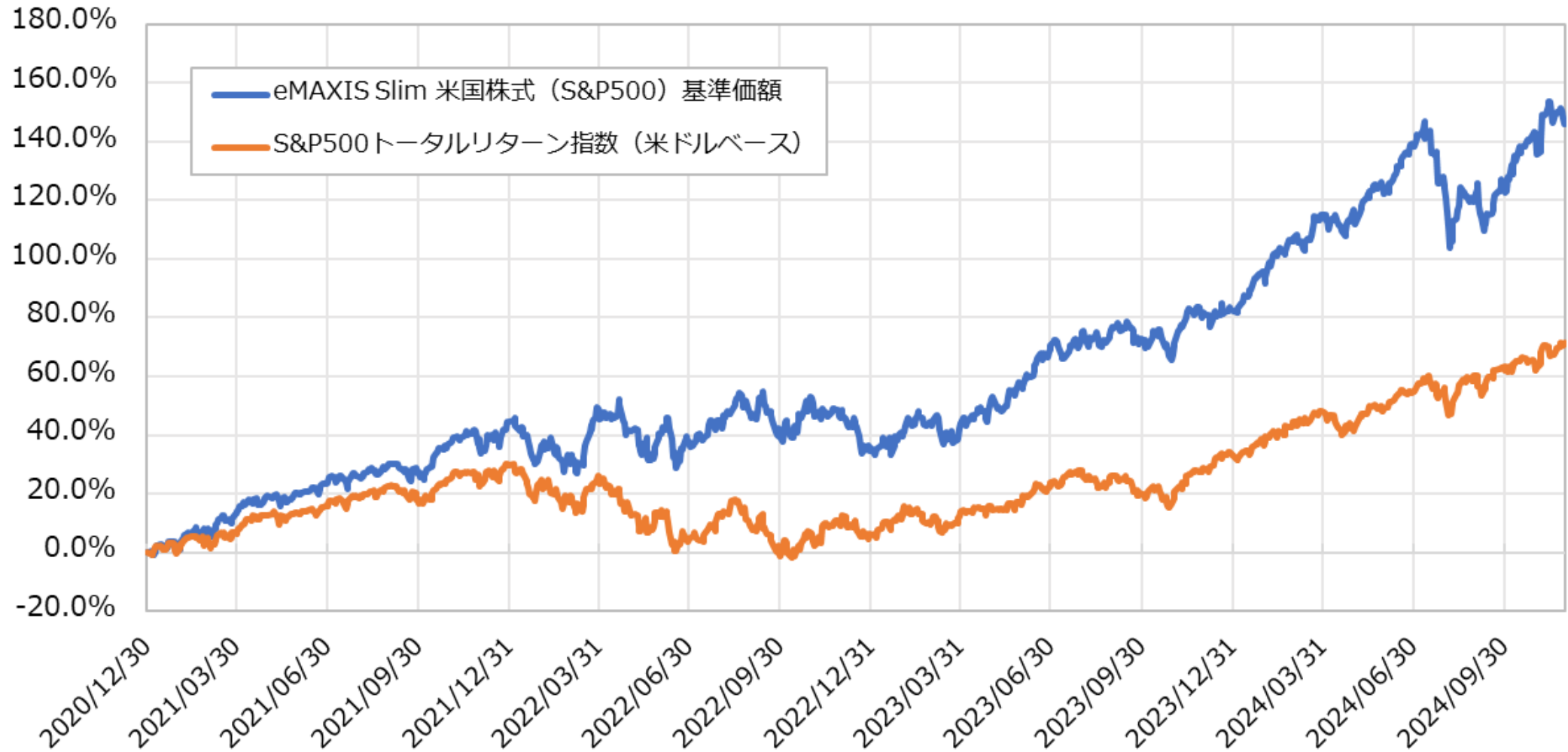
1級ファイナンシャル・プランニング技能士

篠田 尚子

S&P500指数を取り巻く環境

海外株式インデックスの成績は「追い風参考記録」状態が続く

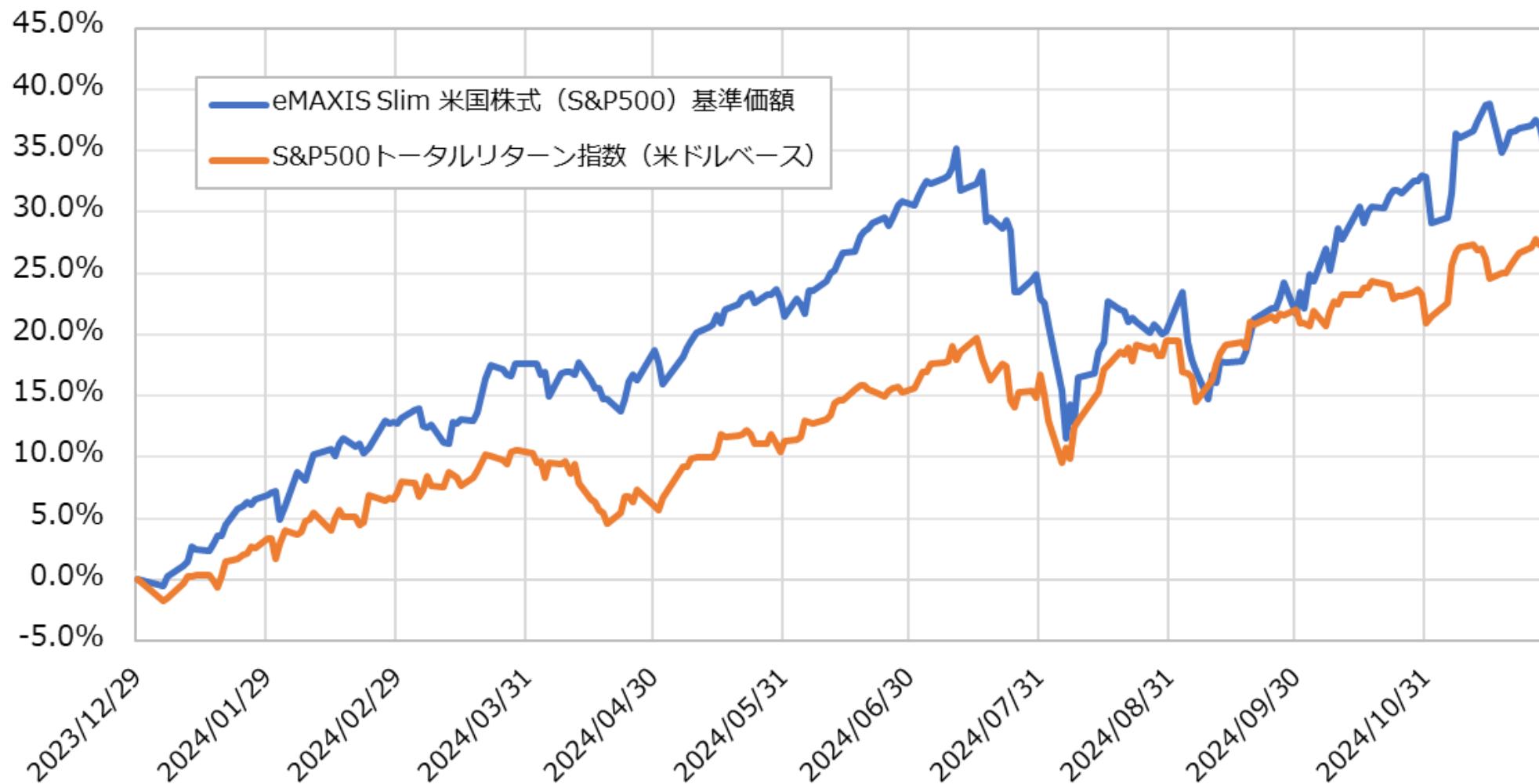
S&P500指数と円建てインデックスファンドのリターン推移



※QUICK、S&Pのデータを基に楽天証券資産づくり研究所作成。

ここに来て米ドルベースとの差は再び縮小

S&P500指数と円建てインデックスファンドのリターン推移（年初来）



※QUICK、S&Pのデータを基に楽天証券資産づくり研究所作成。

S&P500指数の上位構成銘柄の変遷

	1990	2000	2010	2020	2024
1	IBM	GE	エクソン・モービル	アップル	アップル
2	エクソン・モービル	エクソン・モービル	アップル	マイクロソフト	エヌビディア
3	GE	ファイザー	マイクロソフト	アマゾンドットコム	マイクロソフト
4	アルトリア・グループ	シスコ	GE	フェイスブック (メタ)	アマゾンドットコム
5	ロイヤルダッチ シェル	シティグループ	シェブロン	アルファベットA	フェイスブック (メタ)
6	ブリストル マイヤーズ	ウォルマート	IBM	アルファベットC	アルファベットA
7	メルク	マイクロソフト	P&G	テスラ	テスラ
8	ウォルマート	AIG	AT&T	バークシャー・ ハサウェイ	バークシャー・ ハサウェイ
9	AT&T	メルク	ジョンソン・エンド ジョンソン	ジョンソン・エンド ジョンソン	アルファベットC
10	コカ・コーラ	インテル	JPモルガンチェース	JPモルガンチェース	ブロードコム

※S&P、Bloombergのデータをもとに楽天証券資産づくり研究所作成。データは年末時点、2024年のみ11月末時点。

海外株式インデックスに一工夫を加えた商品が続々登場

	ファンド名	運用会社	信託報酬
1.	インベスコ S&P 500イコール・ウェイト・ファンド	インベスコ	0.53%
2.	Tracers S&P500トップ10インデックス (米国株式)	日興	0.10725%
3.	Tracers S&P1000インデックス (米国中小型株式)	日興	0.10725%
4.	米国株式これ1本 (S&P500・NYダウ・ナスダック100)	三井住友DS	0.83017%
5.	一歩先いく US テック・トップ20インデックス	大和	0.495%
6.	楽天・モーニングスター・ワイド・モート・フォーカス・インデックス・ファンド	楽天	0.55%
7.	(アムンディ・インデックスシリーズ) オールカントリー・高配当株	アムンディ	0.165%
8.	SMT iPlus 米国株式	三井住友トラスト	0.055%

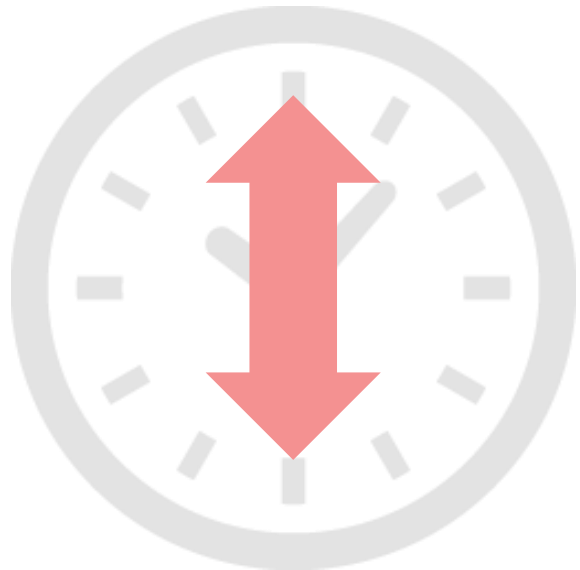
※「SMT iPlus 米国株式」は実績報酬あり。

投資信託・ETF、組み合わせの最適解

2種類の「分散」を実践することが理想

時間分散

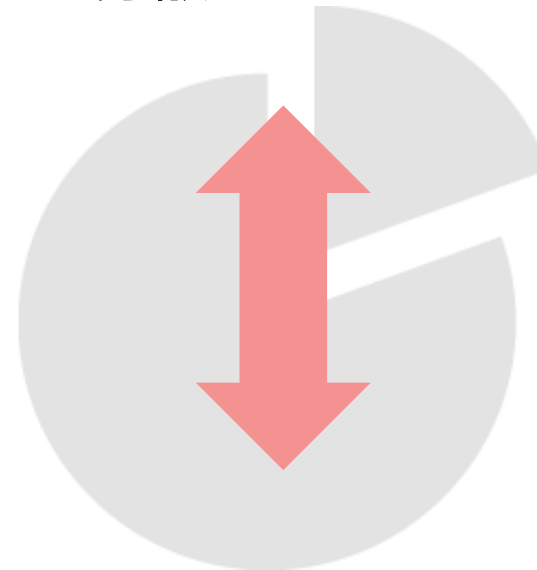
投資するタイミングを**複数回**に分散させること



ただ投資信託を長期間寝かせておいても、時間分散の効果は十分に得られない

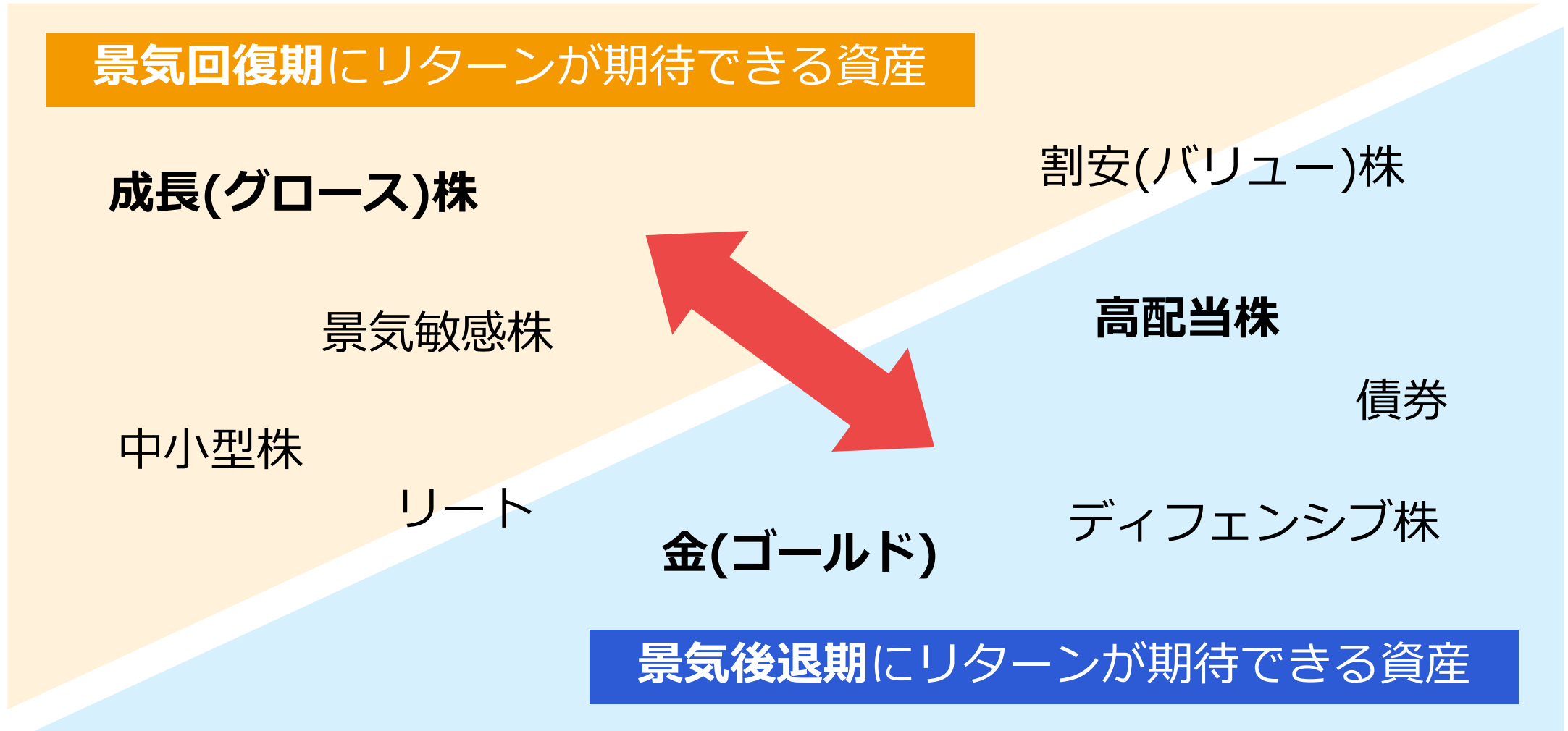
資産分散

値動きの異なる複数の資産に資金を分散させること



似た値動きをする資産を複数保有しても、資産分散の効果は十分に得られない

資産分散 = 性質の資産を組み合わせること



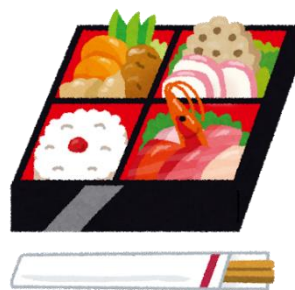
こんな組み合わせ方、していませんか？

- オールカントリー + S&P500
- オールカントリー + NASDAQ100
- オールカントリー + 全米株式
- 全米株式 + S&P500
- S&P500 + NASDAQ100
- オールカントリーまたはS&P500の複数持ち

分散効果は低く、
あまり「意味のない」
組み合わせ



幕の内弁当



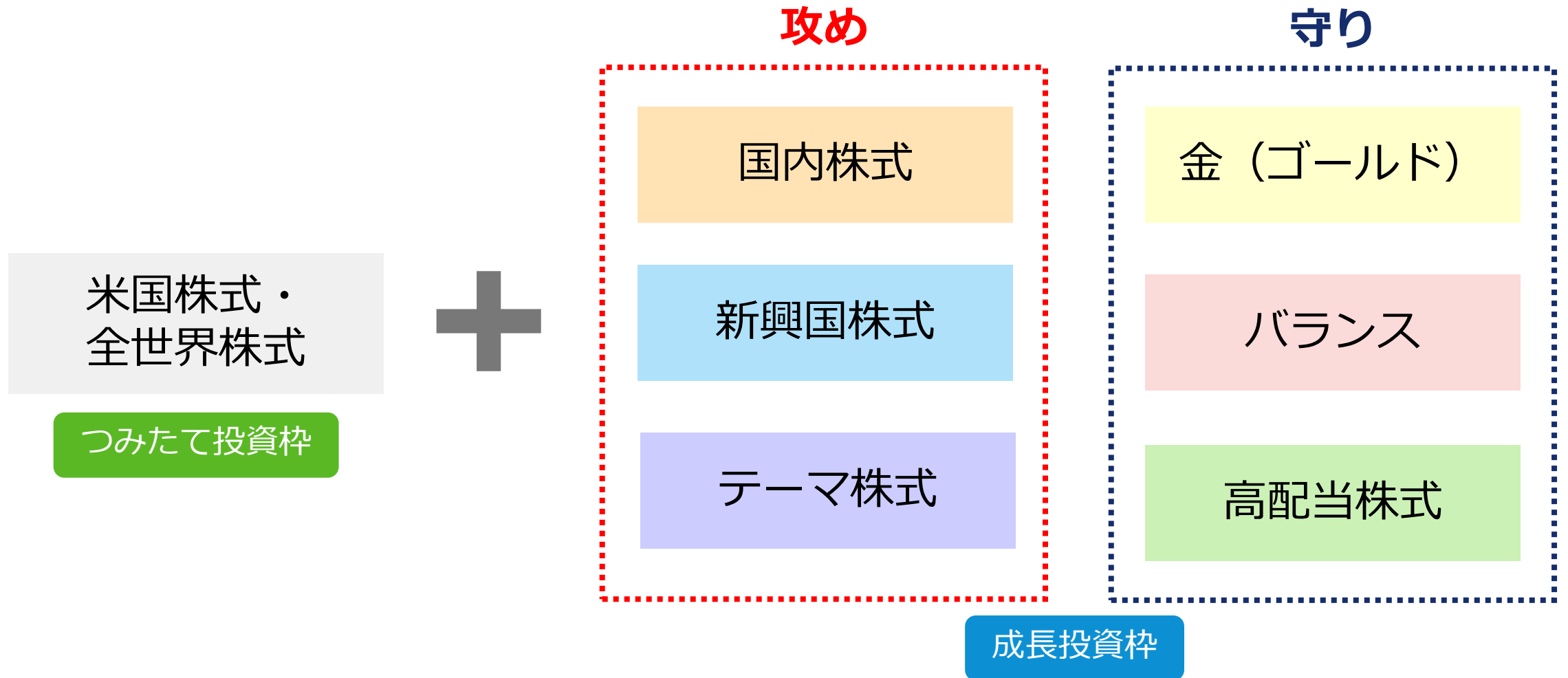
松花堂弁当



唐揚げ弁当

インデックス = お弁当と
考えると…？

米国株式・全世界株式をベースに組み合わせを考えた場合

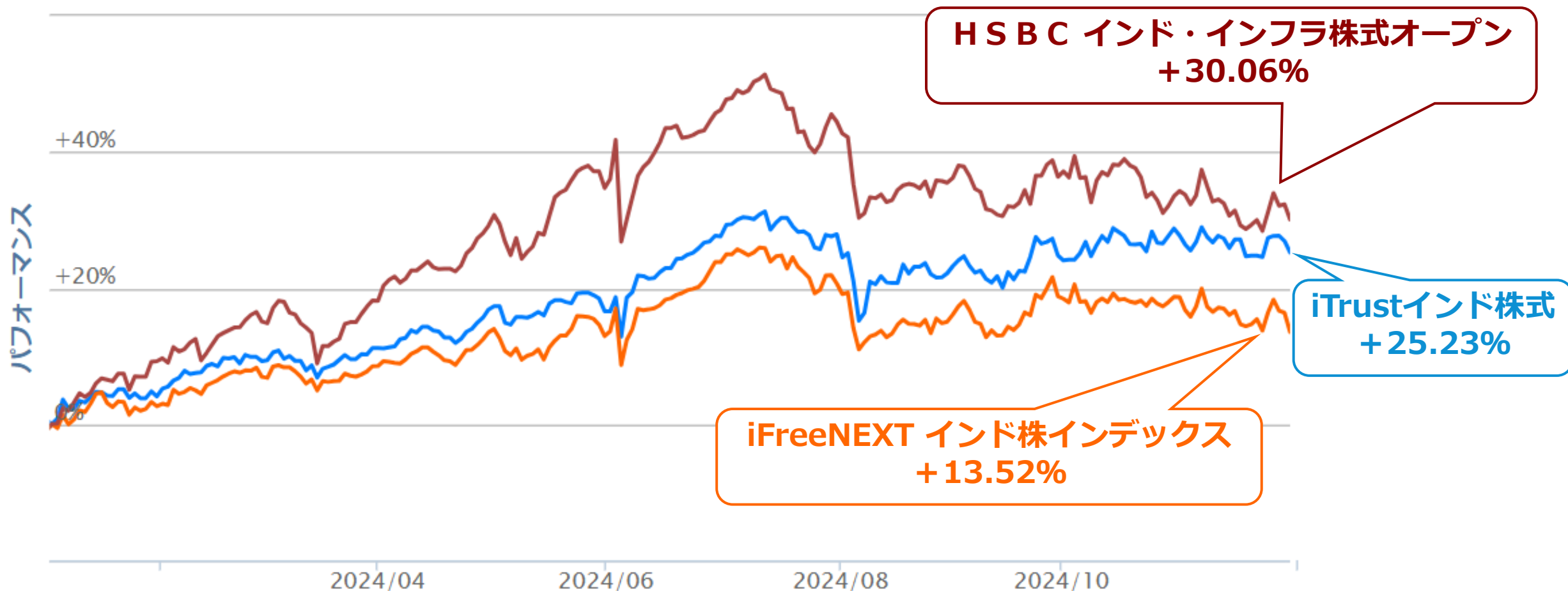


話題の投資信託を徹底解説①

インド株式

インド株ファンドはアクティブとインデックスで成績に差

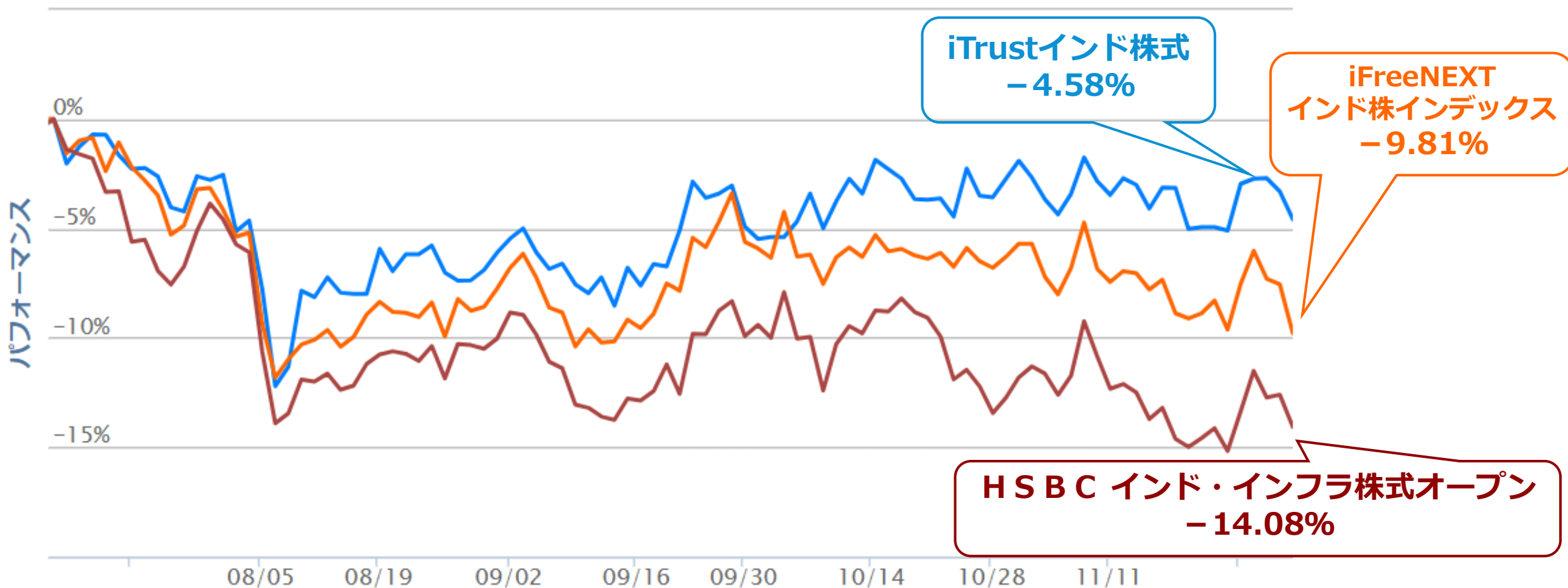
【 2024年 年初来トータルリターン（基準価額+分配金） 】



出所：楽天証券「投信スーパーサーチ」2024年11月末時点

7月の高値更新後の推移を確認すると・・・

【7月11日～トータルリターン（基準価額+分配金）】



出所：楽天証券「投信スーパーサーチ」2024年11月末時点

代表的なインド株投資信託

インデックス

1. iFreeNEXT インド株インデックス
2. auAM Nifty50インド株ファンド
3. SMTAM インド株式インデックス・オープン
4. eMAXIS インド株式インデックス
5. 楽天・インド株Nifty50インデックス・ファンド
6. (アムンディ・インデックスシリーズ) インド株

アクティブ

- ★ 1. HSBC インド・インフラ株式オープン
2. イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド
3. イーストスプリング・インド消費関連ファンド
- ★ 4. iTrustインド株式
- ★ 5. イーストスプリング・インド・コア株式ファンド
6. Oneピュア・インド株式ファンド

代表的なインド株式ETF

	ファンド名	コード	信託報酬・ 経費率	ベンチマーク
1.	NEXT FUNDS インド株式指数・S&P CNX Nifty連動型 上場投信	1678	1.045%	Nifty50指数
2.	iシェアーズ Nifty 50 インド株 ETF	201A	0.385%	
3.	iFreeETF インドNifty50	233A	0.385%	
4.	グローバルX インド・トップ10+ ETF	188A	0.4125%	Mirae Asset India Select Top 10+ Index
5.	ウィズダムツリー インド株収益ファンド	EPI	0.83%	WisdomTree India Earnings Index
6.	ヴァンエック・インドグロースリーダーズETF	GLIN	0.72%	MarketGrader India All- Cap Growth Leaders Idx
7.	ファーストトラスト インド株NIFTY50均等加重ETF	NFTY	0.80%	NIFTY 50 Equal Weight Index

話題の投資信託を徹底解説②

半導体関連株式

エヌビディア (NVDA) の組入比率

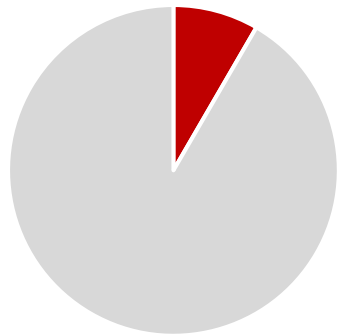
6.6%



バンガード
S&P500 ETF
(VOO)

S&P 500

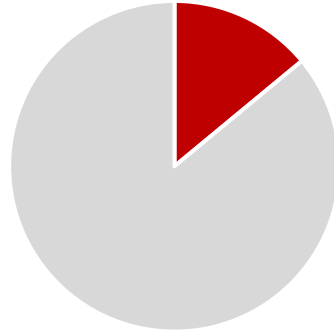
8.4%



インベスコ
QQQ
(QQQ)

NASDAQ 100

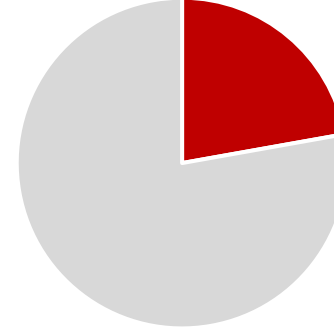
14.0%



グローバルX
半導体ETF
(2243)

フィラデルフィア
半導体株指数
(SOX)

22.2%



ヴァンエック・
半導体株ETF
(SMH)

MV米国
上場半導体25

29.8%



野村世界業種別
投資シリーズ
(世界半導体株投資)

(アクティブファンド)

NVDAの組入れ

低

高

※楽天証券資産づくり研究所作成。データはETFが2024年11月末時点、投資信託は同10月末時点。

代表的な投資信託・ETF：半導体関連

グローバル株式

1. ★ 野村世界業種別投資シリーズ
(世界半導体株投資)
2. <購入・換金手数料なし> ニッセイSOX
指数インデックスファンド
(米国半導体株)
3. 楽天・プラス・SOXインデックス・
ファンド
4. グローバルX 半導体 ETF (2243)
5. ★ ヴァンエック・半導体株ETF (SMH)
6. グローバルX 半導体・トップ10-
日本株式 ETF (282A)

国内株式

1. eMAXIS 日経半導体株インデックス
2. ★ ニッセイ・S日本半導体株式インデック
スファンド<購入・換金手数料なし>
3. 野村インデックスファンド・日経半導体
株
4. グローバルX 半導体関連-日本株式 ETF
(2644)
5. NEXT FUNDS 日経半導体株指数連動型
上場投信 (200A)
6. 上場インデックスF日経半導体株 (213A)
7. MAXIS 日経半導体株上場投信 (221A)

話題の投資信託を徹底解説③

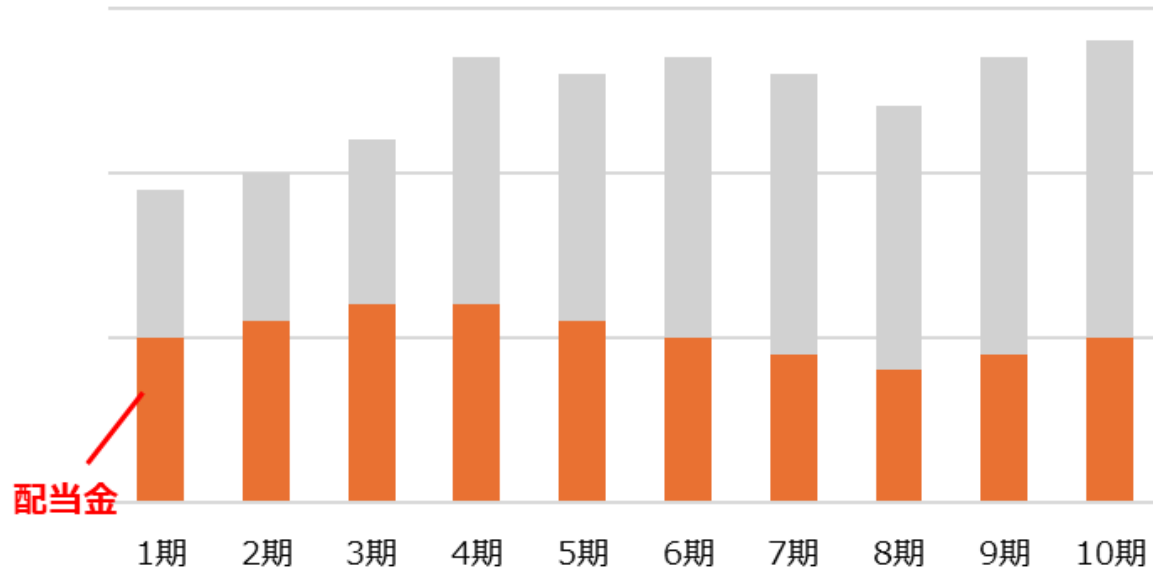
米国高配当・連続増配株式

「高配当株」と「連続増配株」の違い

一般的な株式

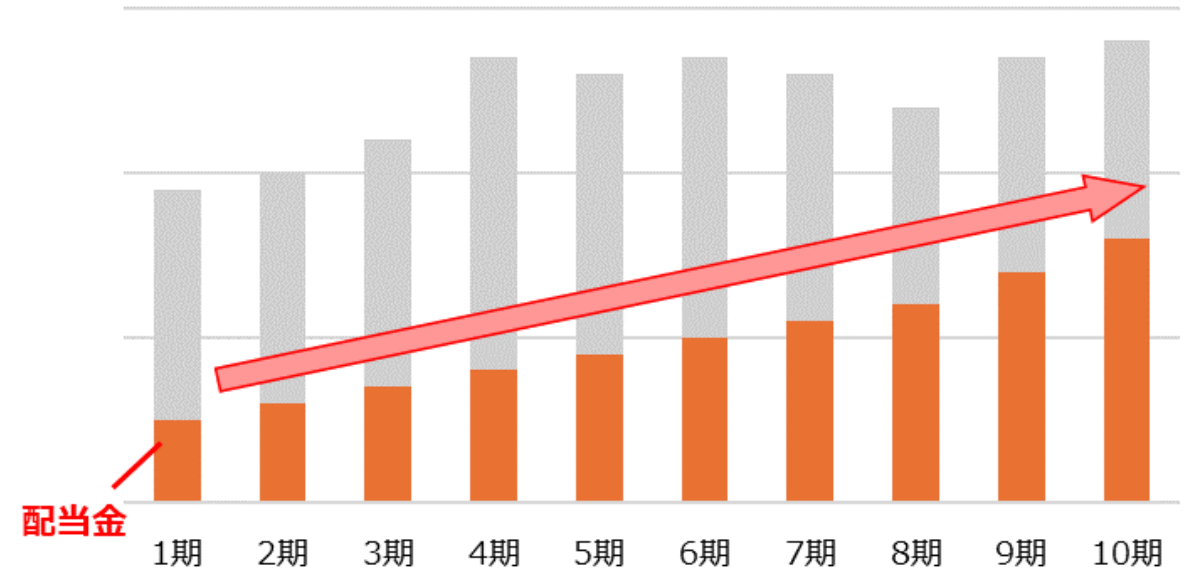
※ 高配当銘柄を含む

1株あたり利益に占める配当の推移（イメージ）



連続増配株

1株あたり利益に占める配当の推移（イメージ）



1株あたり利益が減少しても、配当金が毎年増額する

⇒ **投資元本に対する配当利回りも上昇**

代表的な投資信託・ETF：米国高配当・連続増配株

高配当株

1. ★ 楽天・米国高配当株式インデックス・ファンド
2. 楽天・高配当株式・米国ファンド
(四半期決算型)
3. eMAXIS S&P500 クオリティ高配当
インデックス
4. グローバルX 高配当・優良・米国株 ETF
(QDIV)
5. SPDR ポートフォリオS&P 500 高配当
株式ETF (SPYD)
6. バンガード・米国高配当株式ETF
(VYM)

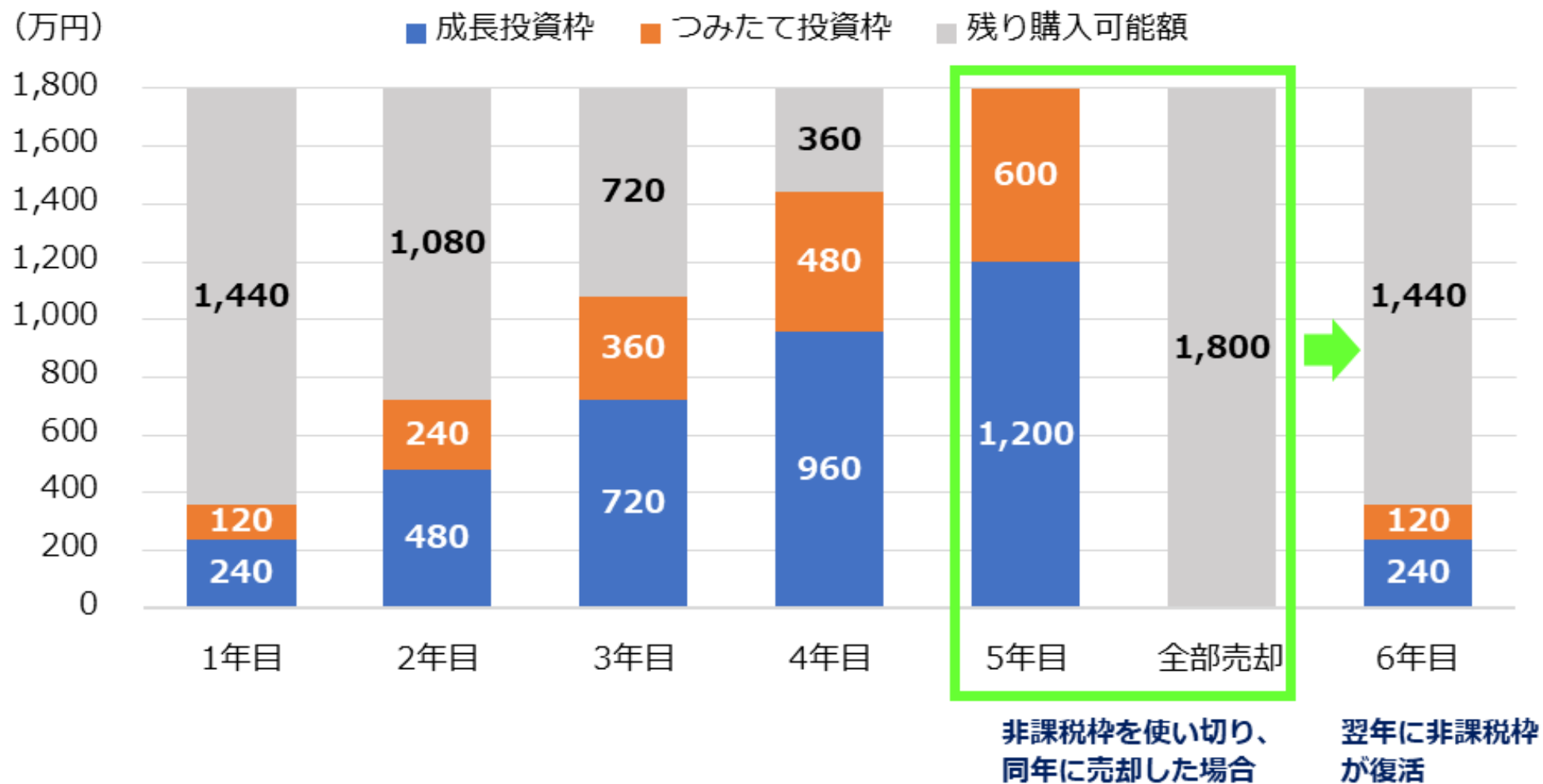
連続増配株

1. 野村インデックスファンド・米国株式配
当貴族
2. Tracers S&P500配当貴族インデックス
(米国株式)
3. ★ iFreePlus 米国配当王 (資産成長型)
4. ★ ファーストトラスト 増配アチーバーズ
ETF (RDVY)
5. ファーストトラスト 中小型増配アチー
バーズETF (SDVY)
6. SPDR S&P 米国高配当株式 ETF (SDY)

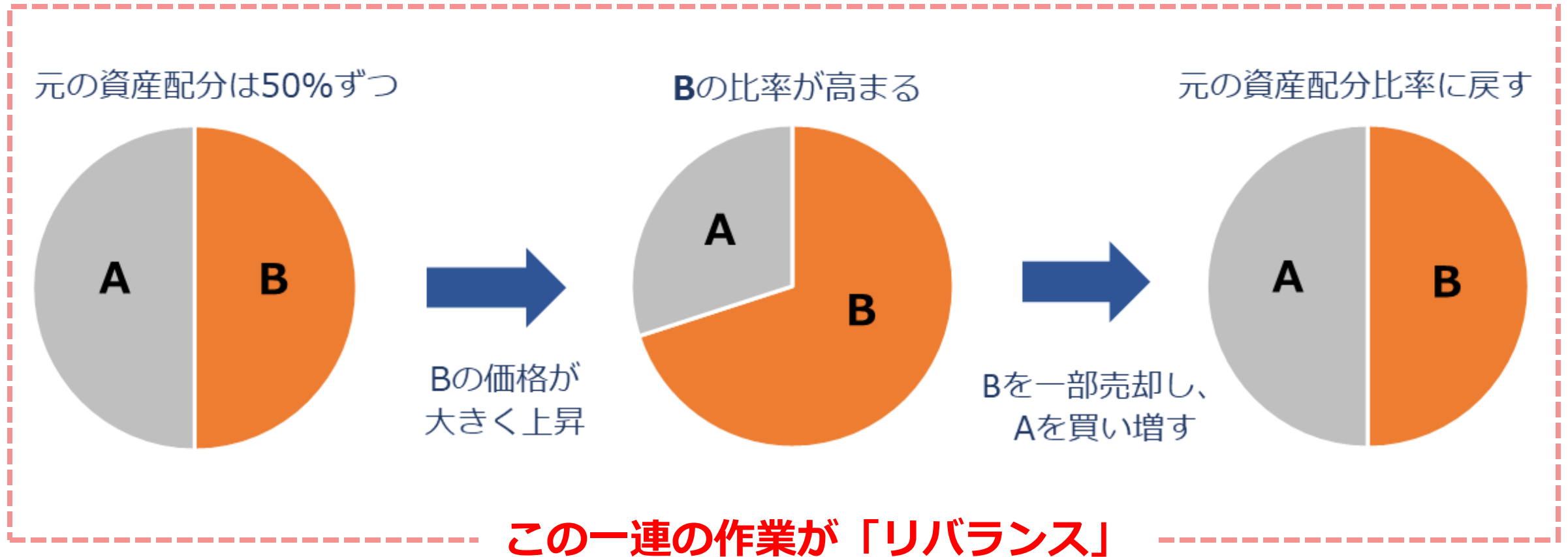
投資信託の「売り時」を考える

新NISAで可能になった「非課税枠の再利用」とは？

新NISA 非課税枠再利用の仕組み



十分な含み益が出ている場合はリバランスも選択肢に

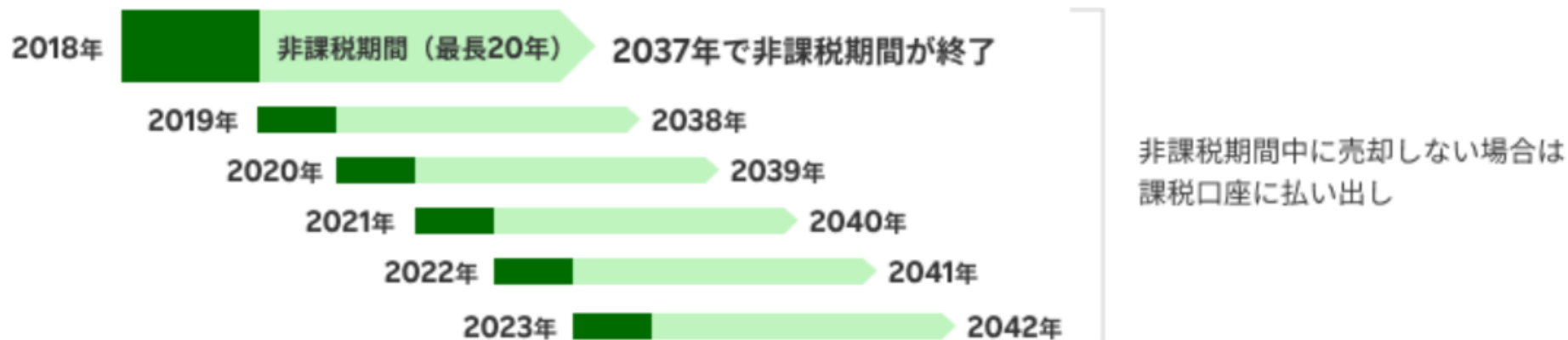


旧NISAの非課税期間にはタイムリミットがある

一般NISAは最長で5年間非課税（最大で2027年まで）

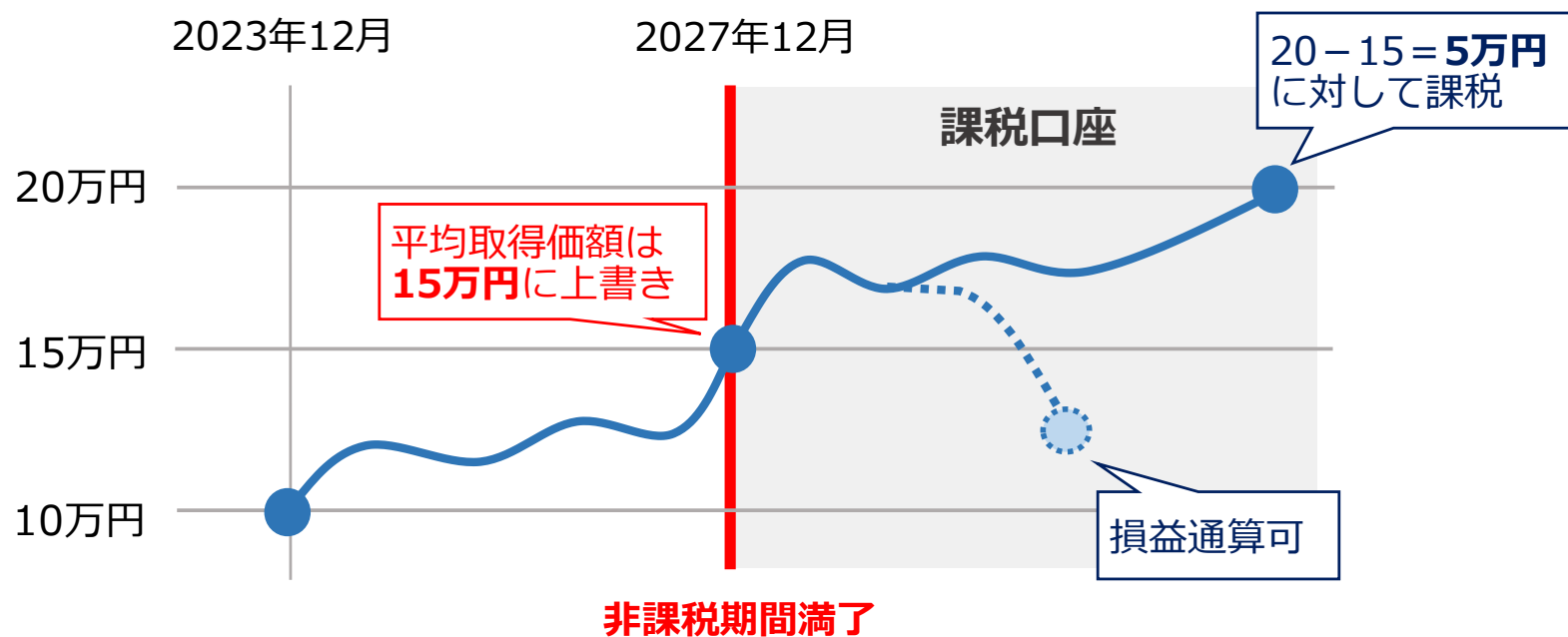


つみたてNISAは最長で20年間非課税（最大で2042年まで）



非課税期間中に売却をしなかった場合、課税口座へ残高が払い出される

【例】 購入時10万円の投資信託が非課税期間満了時に15万円になっていたケース

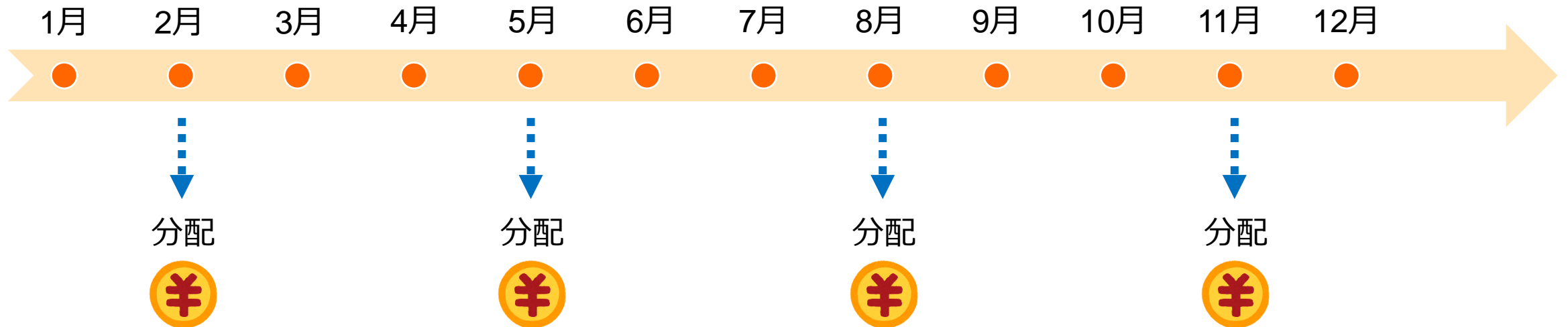


- 払い出しは自動で行われる
- 平均取得価額はその年の年内最終営業日の終値に上書きされる
- 課税口座に払い出された後の取引ルール（手数料や利益に対する課税など）は、特定口座や一般口座のルールが適用される

投資信託の「分配金」と注意点

その分配金、本当に必要？

【「四半期決算型」のイメージ】

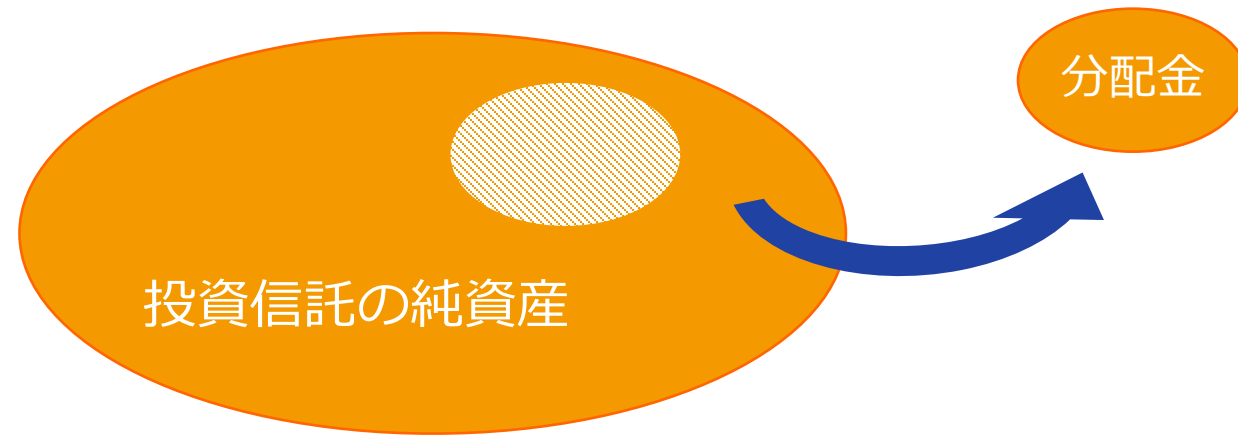


- ① 分配金額は収益分配方針に基づいて**運用会社が最終的に決定する**
- ② あらかじめ一定額が約束されているわけではなく、**支払われない場合もある**
- ③ 分配金の水準は必ずしも**ファンドの収益率を示すものではない**

投資信託の「分配金」と株式の「配当」は似て非なるもの

分配金は投資信託の純資産から支払われる。したがって、分配金が支払われると、その金額相当分だけ基準価額は低下する。

【分配金のイメージ】



日本では、


- ① ファンド内の収益を分配原資として内部留保すること、
- ② 計算期間中に発生した収益を超えて分配金を支払うこと、が認められている。

NISAなら分配金は非課税だが、再投資型では枠の利用状況に注意

③ 分配金コースを選択

分配金とは、この投資信託の決算の後に運用成果として受け取れるお金です。

「再投資型」であれば分配金を自動的に追加購入し、「受取型」であれば分配金を現金で受け取ります。

分配金コース 	<p><input checked="" type="radio"/> 再投資型 <input type="radio"/> 受取型</p> <p><u>分配金を同じ投資信託の追加購入にまわします。</u></p>	<p>追加購入ではNISA枠を使用</p>
--	--	------------------------------

再投資で意図しないNISA枠の利用を避けたいなら…

分配金コース 	<p><input type="radio"/> 再投資型 <input checked="" type="radio"/> 受取型</p> <p>分配金を現金で受け取ります。 ※NISA口座なら分配金は非課税</p>	
--	--	--

NISA枠の利用状況 確認方法

注文	ファンド	分配金 コース	保有数量	平均取得価額 取得総額	基準価額 前日比 / 前月比	時価評価額 評価損益 円 %	トータル リターン +	あし あと
	楽天・プラス・オールカントリー株式インデックス・ファンド(楽天・プラス・オールカントリー)	再投資型	+ 796,719 口 積立設定中	12,551.48 円 1,000,000 円	13,399 円 -341 円	1,067,524 円 +6.75 %	+ +67,524 円	詳細
NISAつみたて投資枠合計				1,000,000 円		1,067,524 円 -		

注文	ファンド	分配金 コース	保有数量 Lスポット・積立 (内訳を表示)	平均取得価額 取得総額	基準価額 前日比 / 前月比	時価評価額 評価損益 円 %	トータル リターン +	あし あと
 	日経平均高配当利回り株ファンド	再投資型	+ 550,169 口 積立設定中	18,314.86 円 1,007,626 円	17,696 円 -209 円	973,579 円 -3.37 %	+ -26,421 円	詳細
 	iTrust 新興国株式(働きざかり～労働人口増加国限定～)	再投資型	+ 642,752 口 積立設定中	15,558.10 円 999,999 円	15,672 円 -193 円	1,007,321 円 +0.73 %	+ +7,321 円	詳細
NISA成長投資枠口座合計				2,007,625 円		1,980,900 円 -		

↑ 投資元本を超えて端数が生じている場合は要確認

2024年に分配金を支払ったNISA対象ファンドの例

	ファンド名	運用会社	年初来 分配金累計 (円)	直近決算 分配金 (円)	年間 決算 回数	決算日
1	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	野村	9,000	9,000	1	06/28
2	米国NASDAQオープンBコース	野村	3,100	1,600	2	05/28 11/28
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	日興	2,500	1,500	2	01/20 07/20
4	ダイワ・インド株ファンド	大和	2,150	0	4	03/07 06/07 09/07 12/07
5	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	イーストスプリング	2,000	1,000	2	02/20 08/20
6	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	三菱UFJアセット	1,655	355	2	02/27 08/27
7	情報エレクトロニクスファンド	野村	1,550	1,550	1	02/21
8	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和	1,200	1,200	2	06/16 12/16
9	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	イーストスプリング	1,000	0	2	05/20 11/20
10	農林中金<パートナーズ>長期厳選投資 おおぶね ※つみたて投資枠	農中全共連	300	300	1	06/20
11	日経平均高配当利回り株ファンド ※つみたて投資枠	三菱UFJアセット	280	280	2	06/15 12/15
12	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス	190	190	2	06/15 12/15
13	H S B C インド・インフラ株式オープン	H S B C	100	100	1	06/17

注) データはすべて11月末時点。楽天証券取扱いのNISA対象銘柄のみ。

最新刊のご案内

FP & 投資信託のプロが教える 新NISA完全ガイド

(SBクリエイティブ)



1. これだけはおさえておきたい新NISAのキホン
2. 新NISAの“最強の活用法、をズバリ教えます！
3. プロが厳選！オススの投資信託30本
4. プロが伝授！新NISAのETFの賢い使い方
5. 【ケース別】投資信託のオススの組み合わせ方
6. 投資信託購入後のアフターフォロー

セミナーのご案内



The banner features a pink piggy bank icon on the left and a pink flower icon on the right. The text is centered and uses a mix of blue and pink colors. The background is a light blue gradient with faint icons of a yen sign and a flower.

2025年こそ /
iDeCoデビュー!

簡単手続で 無理しない
資産形成セミナー

事前申込要 参加費無料 オンライン開催 2024年12月18日(水)19:00~

篠田 尚子

12/9(月)まで参加のお申し込み、事前質問受付中!

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

国内株式のリスクと費用について

■国内株式 国内ETF/ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

【株式等のお取引にかかるリスク】

株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※ 「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【信用取引にかかるリスク】

信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

【株式等のお取引にかかる費用】

国内株式の委託手数料は「ゼロコース」「超割コース」「いちにち定額コース」の3コースから選択することができます。

国内株式のリスクと費用について

〔ゼロコース（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSOR（スマート・オーダー・ルーティング（※1））注文のご利用が必須となります。

（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

ゼロコースをご利用される場合には、当社のSORやRクロス（※2）の内容を十分ご理解のうえでその利用に同意いただく必要があります。

※1 SORとは、複数市場から指定条件に従って最良の市場を選択し、注文を執行する形態の注文です。

※2 「Rクロス」は、楽天証券が提供する社内取引システム（ダークプール（※3））です。

※3 ダークプールとは、証券会社が投資家同士の売買注文を付け合わせ、対当する注文があれば金融商品取引所の立会外市場(ToSTNeT)に発注を行い約定させるシステムをいいます。

〔ゼロコース（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSORのご利用が必須となります。（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

国内株式のリスクと費用について

〔超割コース（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
5万円まで	50円（55円）
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	105円（115円）
50万円まで	250円（275円）
100万円まで	487円（535円）
150万円まで	582円（640円）
3,000万円まで	921円（1,013円）
3,000万円超	973円（1,070円）

※（）内は税込金額

超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔超割コース 大口優遇（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

〔超割コース（信用取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	135円（148円）
50万円まで	180円（198円）
50万円超	350円（385円）

※（）内は税込金額

〔超割コース 大口優遇（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

国内株式のリスクと費用について

【いちにち定額コース】

1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。

1日の取引金額合計	取引手数料
100万円まで	0円
200万円まで	2,000円（2,200円）
300万円まで 以降、100万円増えるごとに1,100円追加。	3,000円（3,300円）

※（）内は税込金額

※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。

※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

【かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）にかかるリスクおよび費用】

リスクについて

かぶミニ®の取扱い銘柄については市場環境等により、取扱いを停止する場合があります。

費用について

売買手数料は無料です。

かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）は、当社が自己で直接の相手方となり市場外で売買を成立させます。そのため、取引価格は買付時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を上乗せした価格、売却時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を差し引いた価格となります（1円未満の端数がある場合、買付時は整数値に切り上げ、売却時は切り捨て）。なお、適用されるスプレッドは当社ウェブサイトにて開示していますが、相場環境の急変等により変動する場合があります。

●カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

レバレッジ型ETF等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

国内株式のリスクと費用について

【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】

(貸株サービスのみ)

●リスクについて

貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。（信用貸株のみ）

●株券等の貸出設定について

信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

(貸株サービス・信用貸株共通)

●当社の信用リスク

当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡し、履行期日又は両者が合意した日に行われなかった場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。

●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。

貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

国内株式のリスクと費用について

●株主優待、配当金の情報について

株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応していません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

●大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について

楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第5項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第2項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

●税制について

株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

外国株式のリスクと費用について

■外国株式 海外ETF/ETN/REIT

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※ 「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.55%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式信用取引】

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

- 約定代金の0.33% (税込)
- ・最低手数料：0米ドル
- ・上限手数料：16.5米ドル (税込)

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

投資にかかる手数料等およびリスク

【投資信託の取引にかかるリスク】

● 主な投資対象が国内株式

組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

● 主な投資対象が円建て公社債

金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

● 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの

組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

【投資信託の取引にかかる費用】

各商品は、銘柄ごとに設定された買付又は換金手数料（最大税込4.40%）およびファンドの管理費用（含む信託報酬）等の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

● お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「買付手数料」：ファンドによって異なります。

● 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用

「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。

● ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、ファンドの管理費用（含む信託報酬）、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませうお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。各商品のお取引にあたっては、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

【投資信託に関する情報提供について】

- ・ 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- ・ 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・ 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

（楽天証券分類およびファンドスコアについて）

- ・ 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流出入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・ 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以上三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 確定拠出年金運営機関 登録番号774

Rakuten 楽天証券